

#### 問 1. (解答例)

鹿児島島の温泉は日本で第2位の泉源数を持つ。この理由として鹿児島には多くの活火山が存在することがあげられる。地表から染み込んだ地下水はマグマの熱で温められ、多くの元素を溶かし込んで地表に湧き出し、温泉となる。マグマが上昇してくる活火山は霧島からトカラ列島へ続く、かつて霧島火山帯と呼ばれた列を作り、それらの活火山の周辺に有名な温泉地が点在している。温泉郷として霧島、指宿などが有名であるが、南の火山島や、断層に沿う火山から離れた場所にも良い温泉がある。(225字)

#### 問 2. (解答例)

京都・伏見の寺田屋事件で、九死に一生を得た坂本龍馬は、1866年、西郷隆盛らの勧めで、妻のおりょうとともに、傷の治療に専念するため、薩摩を訪問した。薩摩では、小松帯刀の屋敷に宿泊した。また、塩浸温泉を訪ね、傷を癒すとともに、高千穂峰登山を行い、ニニギノミコトが降臨した際に、逆さに突きたてたと言われる「天の逆鉾」を引き抜いたりしている。龍馬の薩摩訪問は、日本最初の新婚旅行と言われている。(190字)

#### 問 3. (解答例)

太平洋戦争中、沖縄航空特攻の中継基地となる陸軍浅間飛行場が造られた。戦後、日本から切り離され米軍政下に置かれた奄美群島では祖国復帰運動が繰り広げられたが、中心的役割を担ったのが伊仙町出身の詩人・泉芳朗である。泉は120時間断食祈願を断行するなど運動をリードし、1953年12月の本土復帰を果たした。長寿の島でもあり、世界最長寿者としてギネスブックに認められた泉重千代、本郷かまと両人の生まれ故郷でもある。(200字)

#### 問 4. (解答例)

志布志港は、国の中核国際港湾に位置付けられ、現在、台湾・香港、中国、韓国、フィリピンとの間に外貿定期コンテナ航路が就航し、また、大阪、東京、沖縄を結ぶ内航フェリーネットワークも充実している。南九州地域は、牛・豚・鶏等畜産の生産量が日本一で、わが国の食料供給基地となっており、同港には、とうもろこし・牧草・稲わら等の飼料原料を積んだ穀物船やコンテナ船が世界各国から入港し、埠頭背後には穀物貯蔵施設・配合飼料製造業等の関連企業が立地している。(219字)

問5.

- [1] ①大うなぎ ②924 ③今和泉 ④知林ヶ ⑤枚聞  
⑥唐船峡 ⑦西大山

- [2] 火山湖である山川港は鰻池などとともに太古の火山跡が残り、地質学上「火山博物館」と呼ばれている。天然の良港山川港は、古くは「琉球貿易」、現在では「かつお」遠洋漁業の基地として栄え、台風時の避難港ともなっている。かつおぶしの生産は全国屈指である。(121字)